情報リテラシーに関する意見交換会について

資　料　1　－　1
千　代　田　区

背　景

○ ＳＮＳ等により誰もが世界に向けて瞬時に情報を発信できる時代

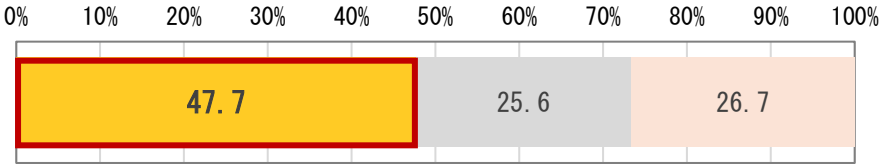
○ アルゴリズム機能により情報の利便性は飛躍的に向上した一方で、フィルターバブルやエコーチェンバーといった情報の偏りや閉鎖性が深刻な課題

○ **生成ＡＩが急速に進化・普及**し、ＡＩは単なるツールから、**自律的に判断し行動するエージェント型ＡＩ**へとさらにシフト

偽・誤情報の拡散等が社会問題として顕在化する中、今後のＡＩのさらなる発展は、人々の生活や社会のあり方に大きな変化をもたらすものと思料

生成AIで作成

【参考】過去に流通した偽・誤情報を見聞きした人の内容の真偽判断



■ 正しい情報だと思う、おそらく正しい情報だと思う
■ どちらともいえない　■ 誤った情報だと思う、おそらく誤った情報だと思う

※ 調査対象は、偽・誤情報のうち１件以上見聞きした人（ｎ＝844）
※ 偽・誤情報の接触数に応じた加重平均で算出

総務省、ICTリテラシー実態調査資料を基に作成

目　的

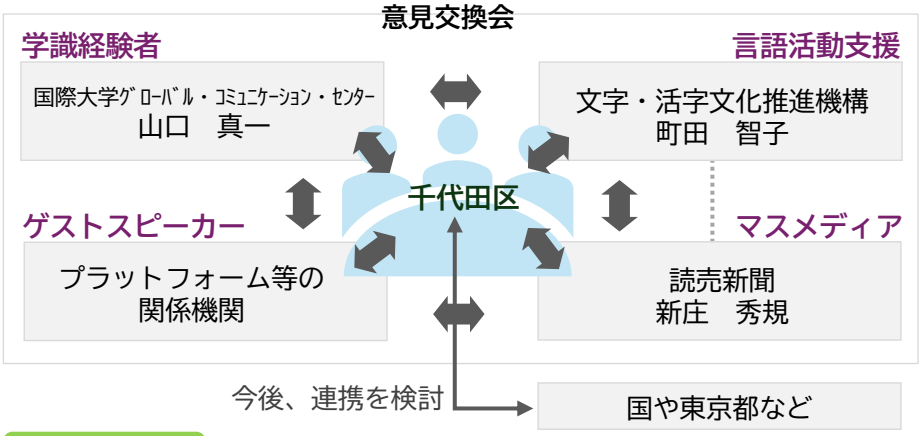
○ ＡＩのさらなる進展を見据え、情報を取り巻く現状認識や課題認識等について、様々な立場から、多角的・専門的に意見交換を実施

○ **区民生活に及ぼす影響に関して理解を深める**とともに、**区が対応する必要性や方策等の検討に生かしていく**

実施概要

メンバー

様々な立場から現状認識や課題認識を共有し意見交換



テーマ

○ 情報を取り巻く現状認識・課題認識
○ ＡＩ技術の進化を見据えたデジタル社会におけるリテラシー向上推進方策に関すること
○ 効果的な情報発信に関すること　など

開催回数と各回詳細テーマ（予定）

※状況に応じて適宜見直し

第1回（7月）	▶ 開催主旨とスケジュール ▶ 現状・課題認識の共有	区取組状況の共有
第2回（10月）	▶ 基礎自治体の役割と区取組の方向性	
第3回（1月）	▶ 令和８年度の区取組	
第4回（3月）	▶ 今後の展望	